

新入学(園)児と高齢者の 交通事故防止運動

平成31年 3月15日(金)～4月15日(月)



運動の 重点

- ① 信号機のない横断歩道を含む通学・通園路を中心とした交通危険箇所での安全確保
- ② 新入学(園)児と保護者に対する交通安全教育・指導の徹底
- ③ 高齢ドライバーを含む高齢者の交通事故防止



滋賀県・滋賀県交通対策協議会

滋賀県交通戦略課 交通安全対策室 TEL:077(528)3682

この印刷物は再生紙を利用しています。

滋賀県交通戦略課 と検索して下さい。



新入学(園)児の交通事故防止

● 子どもの交通事故防止 ～Q&A～

◎ 子ども(小学生以下)の事故はどのような事故が多いの？

▲ 自動車同乗中に最も多く事故にあっています。

昨年(平成30年)、県内で自動車同乗中に怪我をした子ども(小学生以下)は127人です。



要点

- 6歳未満の子どもにはチャイルドシートを必ず着用しましょう。
- 後部座席を含めた全ての座席でシートベルトを必ず着用しましょう。

高齢者の交通事故防止

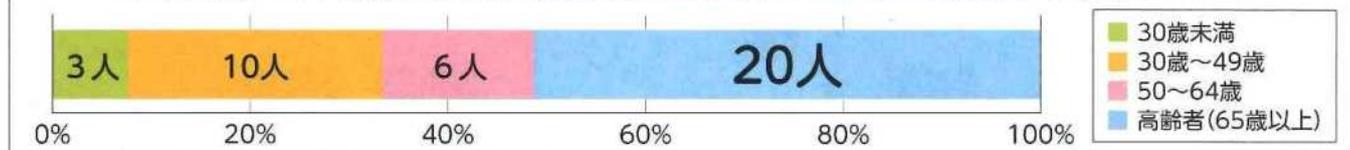
● 高齢者の交通事故防止 ～Q&A～

◎ 高齢者(65歳以上)の交通死亡事故は多いの？

▲ 交通死亡事故の5割以上が高齢者の死亡事故です。



昨年(平成30年)、県内の交通事故死者数は39人、うち20人が65歳以上の高齢者でした。



◎ 高齢者(65歳以上)の交通死亡事故の特徴は？

▲ 自動車運転中と歩行中の死亡事故が多いです。

昨年(平成30年)、県内で高齢者の死亡事故は、自動車運転中が8人、歩行中は8人で、合わせると全体の8割になります。



要点

- 無理な横断はせず、夜間は反射材を身に付けましょう。
- 高齢運転者が運転に不安があるときは、運転免許証の自主返納も含めて家族内でよく話し合しましょう。

横断歩道利用者ファースト運動

信号機のない横断歩道で歩行者が横断しているときに、車が一時停止しているかについて昨年(平成30年)JAFが調査したところ、一時停止している車の割合は全国平均8.6%、**滋賀県は全国平均を下回る8.3%**でした。

道路交通法では、「**横断歩道は歩行者優先**」を交通ルールで定めています。

ドライバーの方は、信号機のない横断歩道を通ると

き、歩行者がいなかったら確認し、歩行者がいれば車を止め、横断しようとしている方に道を譲りましょう。

また、歩行者の方は左右の安全確認や、ドライバーに対して手を挙げるなどの意思表示をし、必ず車が止まった後に横断を始めましょう。

